

第26回

川崎市障害者スポーツ大会

ご案内・申込書



お問い合わせ先: 市民文化局市民スポーツ室
電話 044-200-3547
FAX 044-200-3599



めざせ! やさしき日本代表!
かわさきパラムーブメント



川崎市のホームページは
こちらから

1. 開催日程・開催場所

第1部 アーチェリー大会	令和8年 4月11日(土)
(身体)	カルッツかわさき弓道場 受付 9:15～ 9:30 開会 9:40～
第2部 水 泳 大 会	令和8年 4月25日(土)
(身体・知的・精神)	多摩スポーツセンタープール 受付 9:00～ 9:50 開会10:15～
第3部 フライングディスク大会	令和8年 5月 9日(土)
(身体・知的・精神)	井田グラウンド・井田体育館 受付 9:30～ 9:50 開会10:00～
第4部 陸上競技大会	令和8年 5月31日(日)
(身体・知的・精神)	Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu (等々力陸上競技場) 受付 9:00～ 9:50 開会10:10～ * 荒天時中止
第5部 卓 球 大 会	令和8年 6月14日(日)
(身体・知的・精神)	幸スポーツセンター大体育室 受付 9:30～ 9:50 開会10:00～
第6部 ボウリング大会	令和9年 1月23日(土)
(身体・知的・精神)	川崎グランドボウル 受付 8:30～ 8:50 開会 9:20～
第7部 ボッチャ大会	令和9年 2月11日(木・祝)
(身体)	高津スポーツセンター大体育室 受付 9:30～ 9:50 開会 10:00～

※受付および開会の時間は変更となる場合があります。
詳しくはエントリー完了通知をご確認ください。

※受付手続きは必ず受付時間内をお願いいたします。
時間内に手続きがなされない場合、競技に参加できませんのでご注意ください。

2. 申込期限

アーチェリー大会	令和8年 3月19日(木)
水 泳 大 会	令和8年 3月19日(木)
フライングディスク大会	令和8年 3月19日(木)
陸 上 競 技 大 会	令和8年 4月10日(金)
卓 球 大 会	令和8年 4月10日(金)
ボウリング大会	令和8年12月11日(金)
ボッチャ大会	令和8年12月11日(金)

- ◆申込期限までに、お住まいの区の地域みまもり支援センター障害者支援係までお申込みください。区役所でのお申込みが難しい場合やお問合せ等は市民文化局市民スポーツ室(本冊子の表紙に記載)までご連絡ください。
- ◆申込締め切り後、申込者にエントリー完了通知等を送付します。

3. 会場のご案内

アーチェリー大会

カルッツかわさき(川崎区富士見 1-1-4)

交通手段: JR 川崎駅東口より市バスまたは臨港バス「カルッツかわさき・富士見公園」
下車徒歩2分または JR 川崎駅、京急川崎駅より徒歩15分

水 泳 大 会

多摩スポーツセンター(多摩区菅北浦 4-12-5)

交通手段: JR 稲田堤駅、京王相模原線京王稲田堤駅、小田急線読売ランド前駅より
小田急バス「南菅中学校」下車徒歩1分

フライングディスク大会

井田グラウンド・井田体育館(中原区井田 3-16-1)

交通手段: JR 武蔵小杉駅より市バス「中原老人福祉センター入口」下車徒歩8分
または東急東横線日吉駅より東急バス(ミニバス)「さくらが丘」下車徒歩8分

陸 上 競 技 大 会

Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu (中原区等々力1-1)

交通手段: JR 武蔵小杉駅、東急東横線武蔵小杉駅より市バス
または東急バス「市営等々力グラウンド入口」下車徒歩5分

卓 球 大 会

幸スポーツセンター(幸区戸手本町 1-11-3)

交通手段: JR 川崎駅西口北、武蔵小杉駅より市バス「幸区役所入口」下車徒歩3分
または JR 矢向駅、鹿島田駅より徒歩20分

ボウリング大会

川崎グランドボウル(川崎区宮前町 11-14)

交通手段: JR 川崎駅東口より市バスまたは臨港バス「カルッツかわさき・富士見公園」
下車徒歩5分または JR 川崎駅、京急川崎駅より徒歩15分

ボッチャ大会

高津スポーツセンター(高津区二子 3-15-1)

交通手段: 東急田園都市線二子新地駅または高津駅より徒歩8分

4. 参加資格

各大会の参加者は、以下の条件をすべて満たすことが必要です。

- (1) 令和8年4月1日現在で13歳以上であり、原則として市内にお住まいの方。
ただし、市内の学校・施設等に在学・入所・通所している方や市内在勤の方も参加できます。
※13歳未満の方は、オープン参加（試行的参加）とします。
- (2) 次のいずれかに該当する方。
 - ① 身体障害者手帳をお持ちの方。
 - ② 療育手帳をお持ちの方。あるいは取得の対象に準ずる障害のある方。
 - ③ 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方。あるいは取得の対象に準ずる障害のある方。

〈障害別参加一覧〉

◎…参加可能、○…オープン参加、×…参加不可

(オープン参加…全国障害者スポーツ大会への参加資格なし)

	アーチェリー	水泳	フライングディスク	陸上競技	卓球	ボウリング	ボッチャ
身体障害	◎・○	◎	◎	◎	◎	○	◎・○
内部：ぼうこう・直腸	◎	×	◎	◎	○	○	○
内部：上記以外	○	×	○	×	○	○	○
知的障害	×	◎	◎	◎	◎	◎	×
精神障害	×	○	○	○	◎	○	×

- (3) 競技・種目の練習を定期的に行っている方。
参加を希望する大会の競技・種目を定期的に練習の上、大会にご参加ください。
- (4) スポーツをすることについて、特に健康上の問題がない方。
いずれの大会も、医師からスポーツ大会への参加を許可されていることが条件となります。
また、障害状況等により、診断書・意見書等の提出を求め、安全確認を行う場合があります。
- (5) その他の注意事項
 - ・大会に参加する上で、介助が必要な方は、必ず介助者を手配してください。
 - ・ボウリング大会、ボッチャ大会のオープン参加は申込み多数の場合、選考等を行う場合があります。
 - ・参加者の決定は主催者が行います。(参加決定者にエントリー完了通知等を送付します)
 - ・この大会は全国障害者スポーツ大会の選考会を兼ねる大会とし開催します。
 - ・オープン参加および市内在勤の方は、全国障害者スポーツ大会の参加資格がありません。
 - ・主催者は記録・広報等に使用するために写真等を撮影いたしますので、ご同意の上ご参加ください。
 - ・写真撮影等を行う際は周囲の状況に配慮し、写真等に写っている方の許可なく SNS 等へ公開・転載することは禁止いたします。
 - ・その他、主催者が定めた事項をお守りいただき大会へご参加ください。

5. 参加方法

- ・参加申込書(P10)に必要事項を完全記入の上、申込期限(本冊子のP2に記載)内にご提出ください。
※区分番号等の記入漏れにご注意ください
- ・障害によって出場が限られている大会もございます。上記の「4.参加資格」およびP5~8の「8.大会別種目・障害区分」をよくご確認ください、参加申込書を提出してください。
- ・大会の2週間前程度にエントリー完了通知・参加ID等を送付いたします。内容をよくご確認の上、大会にご参加ください。なお、大会当日は参加IDの提出により受付手続きを行いません。
- ・お問合せ等については市民文化局市民スポーツ室(本冊子の表紙に記載)までお願いいたします。

6. エントリー完了通知・参加ID

- ・大会エントリーが完了した申込者へ大会の2週間前程度にエントリー完了通知と参加IDを送付いたします。
- ・エントリー完了通知には各大会の受付時間等や注意事項等の大切なお知らせを記載しております。
- ・参加IDに申込内容を記載しています。申込内容と参加IDの記載内容に相違がないか必ずご確認ください。
- ・申込内容と参加IDに相違があった場合、速やかに市民文化局市民スポーツ室へご連絡ください。
- ・申込期限後に申込内容の変更はできません。ただし全国障害者スポーツ大会の参加希望については、出場を希望する競技の大会前まで変更を申し出ることができます。
- ・大会当日の受付手続きを参加IDにて行いますので、大会当日に必ずご持参ください。

7. 全国障害者スポーツ大会

(1) 大会概要

全国障害者スポーツ大会は、毎年、国民スポーツ大会に続き、全国の都道府県・政令指定都市選手団約5,600人が一堂に会し、国民スポーツ大会と同じ開催地で行われる国内最大級の障害者スポーツの祭典です。今年は青森県にて第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ2026」として、10月23日（金）～26日（月）の日程で開催されます。

(2) 参加希望方法

全国障害者スポーツ大会に参加を希望する方は、希望する競技の障害種別に該当しているかをご確認の上、本冊子P10の「第26回川崎市障害者スポーツ大会 参加申込書」下部にある【全国障害者スポーツ大会への参加希望】の「あり」に○を付し、あわせて「希望競技」の欄にある参加を希望する競技に○を付しご提出ください。なお、代表選手に選考された方には、6月30日までにご連絡します（選考されなかった方にはご連絡いたしませんので、予めご了承ください）。代表選手になった方は、川崎市が主催する強化練習（7月から開始予定）への参加が必須となります。また、派遣期間は10月21日～10月26日または10月22日～10月27日の5泊6日（往復の移動日、公式練習日、大会3日間 ※競技によって派遣期間が異なります）となります。なお、全日程参加が必須となり途中参加等は認められませんので予めご了承ください。

(3) 川崎市代表選手 選考方法

第26回川崎市障害者スポーツ大会は今年の10月に青森県で開催される第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ2026」の選考会を兼ねる大会とし開催しています（ボウリング大会、ボッチャ大会は来年の全国障害者スポーツ大会の選考会を兼ねる大会とし開催）。川崎市代表選手の選考は、公益財団法人日本パラスポーツ協会が発行している「全国障害者スポーツ大会 競技規則集」の「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」に記載されている「参加資格」、「各都道府県・指定都市における出場選手の選考」、また、同競技規則集「〈別表1〉全国障害者スポーツ大会競技・種目」および主催が定めた選手枠に則り、本冊子P3「4. 参加資格」に記載されている「〈障害別参加一覧〉」にて「◎…参加可能」としている競技・障害種別に該当する市内に在住・在学・入所・通所の選手（在勤の選手は対象外）の中から、第26回川崎市障害者スポーツ大会の記録等を基に選考します。なお、選考の結果、派遣を行わない競技がある場合もあります。

【全国障害者スポーツ大会川崎市代表選手選考規程の一部改定について】

令和8年度から選考規程が改定され、下記（選考基準）のとおり、**2年連続での出場が可能となりました**。

例）令和7年度の滋賀大会に出場した選手は令和8年度の青森大会への出場資格あり

※ボウリング・ボッチャは次年度より適用（令和8年度の青森大会に出場した選手は令和9年度の宮崎大会への出場資格あり）

「全国障害者スポーツ大会川崎市代表選手選考規程」（一部抜粋）

（選考基準）

- (1) 市大会等の記録を第1の基準とし、全国大会記録との比較を行った上で、判断する。なお、卓球・ボッチャについては、競技力・技術力の総合評価を要する。ただし、全国大会記録等と比較の上、各競技について派遣なしとする場合もある。
- (2) 出場回数については制限を設けないが、**連続出場は2年までとする**。ただし、近県開催や開催地等の理由により参加選手枠が拡大した場合、また大会に出場するための措置としてペアでエントリーする個人競技については、この限りではない。
- (3) 市内のパラスポーツの振興を図る観点から、これまでの全国大会出場未経験者の出場を考慮する。
- (4) 障害種別については全国大会事務局が決定した障害別・競技別参加選手枠の範囲で、できるだけ万遍なく選考する。
- (5) 選手団としての介助体制が十分に整えられる障害程度であり、派遣可能な選手団構成か考慮し、選考する。

8. 大会別 種目・障害区分

※障害区分は公益財団法人日本パラスポーツ協会発行の「全国障害者スポーツ大会 競技規則集（令和七年度版）」に準じ本大会用に策定しております。詳細を確認したい方は上記の規則集にてご確認ください。

アーチェリー大会

（アーチェリー 障害区分表）

●男女別

		区分番号	障害区分	リカーブ	コンパウンド
肢体1	脳原性麻痺以外で車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●
		2	その他の車いす	●	
肢体2	切断・機能障害	3	上肢障害	●	
		4	下肢障害（椅子、車いす使用含む）	●	
		5	体幹	●	
肢体3	脳原性麻痺	6	脳原性麻痺（椅子、車いす使用含む）	●	●
聴覚		7	聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	●	
内部		8	ぼうこう又は直腸機能障害（それ以外はオープン）	●	
視覚		9	アーチェリーの安全な操作が可能な方（オープン）	●	

- 競技は30mおよび10mで行う。ただし、10mはオープン参加とする。
- 参加資格は、安全上、「定期的に練習を行って技量の保持に努めている者」とする。
- 内部障害（ぼうこう又は直腸機能障害以外）および視覚障害はオープン参加とする。
- 「第8頸髄まで残存」には「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

フライングディスク大会

（フライングディスク 障害区分表）

◎区分なし

●男女別

障害区分	区分番号	アキュラシー		ディスタンス	
		ディスリート5 (5m)	ディスリート7 (7m)	座位	立位
肢体不自由	1				
視覚	2				
聴覚	3			●	●
知的	4	◎	◎		
内部 (ぼうこう又は直腸機能障害)	5				
精神	6				

- 内部障害（ぼうこう又は直腸機能障害以外）および精神障害はオープン参加とする。

卓球大会

（卓球 障害区分表）

※男女別

・年齢区分別

※精神障害は男女別のみ

		区分番号	障害区分		区分番号	障害区分
肢体1	切断・機能障害	1	片上肢障害	肢体3 疾（脳性麻痺、脳外傷等） 患（脳原性麻痺、脳血管）	10	車いす使用
		2	両上肢障害		11	杖、松葉杖使用
		3	片下腿切断、片下肢不完全		12	上肢に不随意運動あり
		4	片大腿切断、両下腿切断 片下肢完全、両下肢不完全		13	上肢に不随意運動なし
		5	片下腿・片大腿切断 両大腿切断、両下肢完全	14	片側障害	
		6	体幹	視覚	15	アイマスク・アイシェードなし (STIの障害区分「アイマスク・アイシェードあり」は除く)
肢体2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	7	第8頸髄まで残存	知的	17	知的障害
		8	座位バランスなし	精神	18	精神障害
		9	その他の車いす	内部	19	内部障害

- 競技種目は卓球（STTを除く）とする。
- 年齢区分：身体障害（1部＝39歳以下・2部＝40歳以上）
知的障害（少年の部＝19歳以下・青年の部＝20歳～35歳・壮年の部＝36歳以上）
- 内部障害はオープン参加とする。
- 「第8頸髄まで残存」には「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。
- 障害区分や年齢区分及び性別が異なる選手同士にて試合を行う場合がある。
- 競技用のラケットは各自で用意すること。

水泳大会

◎男女別 ・ 年齢区分別 ○男女別 ・ 1部 ●男女別 ・ 2部

障 害 区 分 種 目	肢 1												肢 2				肢 3				肢 4		視		聴		知		精	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27			
自由形	25m	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	50m	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
背泳ぎ	25m	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	◎	◎			
	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎		
平泳ぎ	25m	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	◎	◎			
	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎			
バタフライ	25m	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎			

1 年齢区分：身体障害（1部＝39歳以下・2部＝40歳以上）

知的・精神障害（少年の部＝19歳以下・青年の部＝20歳～35歳・壮年の部＝36歳以上）

2 障害区分1～25（一部を除く）は、年齢区分によって参加が可能な種目が異なる。

（ 水泳 障害区分表 ）

		区分番号	障害区分			区分番号	障害区分	
肢 体 1	上 肢	1	手部切断	肢 体 3 (脳性麻痺、脳外傷、脳血管疾患、)	肢 体 3	17	四肢麻痺（車いす常用）、上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	
		2	片前腕切断、片上肢不完全			18	両下肢麻痺、上肢に軽度な不随意運動を伴う走不能	
		3	片上腕切断、片上肢完全			19	片側障害で片上肢機能全廃	
		4	両前腕切断、両上肢不完全			20	その他の片側障害で走不能	
		5	両上腕切断、両上肢完全、片前腕・片上腕切断			21	その他走可能	
	下 肢	6	片下腿切断、片下肢不完全	肢 体 4	肢 体 4	視 覚	22	浮具使用
		7	片大腿切断、片下肢完全				23	視力0から0.01まで
		8	両下腿切断、両下肢不完全				24	その他の視覚障害
		9	両大腿切断、両下肢完全、片下腿・片大腿切断				25	聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしやく機能障害
	上 下 肢	10	片上肢切断・片下肢切断、片上肢不完全・片下肢不完全	肢 体 4	肢 体 4	知 的	26	知的障害
		11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全、両上肢不完全・両下肢不完全				精 神	27
	体 幹	12	体幹（頸部・胸部・腹部及び腰部（脊柱）のみに変形がある者）					
肢 体 2	脳原性麻痺以外で車いす常用	13	第7頸髄まで残存					
		14	第8頸髄まで残存					
		15	下肢麻痺で座位バランスなし					
		16	下肢麻痺で座位バランスあり					

1 完全とは、上肢または下肢の3大関節（肩・肘・手関節または、股・膝・足関節）の全てに機能障害のあるものをいう。下肢の場合は長下肢装具なしでは体重を支えきれないものをいう。

2 体幹に機能障害があっても、四肢の機能障害が伴う場合、体幹の区分には該当しない。

3 肢体2（障害区分13、14、15、16）は、脳原性麻痺者以外で車いす常用。（脊髄損傷、脊髄腫瘍等脊髄疾患、ポリオ、ギランバレー症候群等の疾患により、対麻痺や、四肢麻痺相当である場合）

4 障害区分22は重度の四肢体幹機能障害のある者で、浮具を使用する者とする。

5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

6 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

7 「座位バランス」は、背もたれの無い座位の状態、両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断する。

8 下肢の切断や欠損等による車いす使用者は、「座位バランスあり」に区分せず切断の区分を適用する。

9 スタート台（飛び込み台）は設置しない。

10 重複障害がある場合は自らが選択した障害区分（1つの障害区分のみ）にて全ての競技・種目に参加すること。

11 知的・精神の選手のプールサイドまでの介助は当日受付で申請すること。また、身体の手入介助は参加申込書の入水介助欄の「必要」に○を付すこと。

12 主たる障害及び重複する障害において聴覚に障害がある者は光刺激スタート発信装置の使用を申請することができる。申請する場合は参加申込書の障害名欄または重複障害欄に聴覚障害を必ず記入し、光刺激スタート発信装置の使用欄の「あり」に○を付すこと。

陸上競技大会

◎男女別 ・ 年齢区分別 △男女混合 ・ 年齢区分なし ▲男女別 ・ 年齢区分なし

種目	障害区分	肢 1									肢 2					肢 3					肢 4	視		聴	知	内	精		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
トラック	50m	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	100m	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎
	200m											◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎
	400m																										◎		◎
	800m											◎	◎	◎						◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
	1500m		◎										◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
	スラローム										◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎			◎						
	4×100mリレー																											△	
跳躍	走高跳		▲	▲																						▲	▲	▲	▲
	立幅跳	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎											◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	走幅跳	◎	◎	◎	◎	◎				◎											◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
投てき	砲丸投	◎			◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎		◎	◎			
	ソフトボール投	◎			◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
	ジャベリックスロー	◎			◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
	ビーナック投										◎	◎					◎	◎						◎					

- 年齢区分：身体障害（1部＝39歳以下・2部＝40歳以上）
知的・精神障害（少年の部＝19歳以下・青年の部＝20歳～35歳・壮年の部＝36歳以上）
- エントリー種目について：①50mと100m、②立幅跳と走幅跳、③ソフトボール投とジャベリックスロー（障害区分8を除く）は、両方に申し込むことはできない。

（陸上競技 障害区分表）

		区分番号	障害区分			区分番号	障害区分	
肢体1	上肢	1	手部切断、片前腕切断、片上肢不完全、片上腕切断、片上肢完全	肢体3	（脳性麻痺、脳外傷等） 脳原性麻痺	16	四肢麻痺で車いす使用	
		2	両前腕切断、片前腕・片上腕切断、両上肢不完全			17	けって移動	
		3	両上腕切断、両上肢完全			18	片上下肢または、片上肢で車いす使用	
	下肢	4	片下腿切断、片下肢不完全			19	上肢で車いす使用	
		5	片大腿切断、片下肢完全			20	その他走不能	
		6	両下腿切断			21	上肢に不随意運動を伴う走可能	
		7	片下腿・片大腿切断、両下肢不完全			22	その他走可能	
	8	両大腿切断、両下肢完全	肢体4			四肢体幹機能障害	23	電動車いす常用
	体幹	9	体幹（頸部・胸部・腹部及び腰部（脊柱）のみに変形がある者）			視覚	24	視力0から0.01まで
肢体2	車脳原性常用麻痺以外で	10	第6頸髄まで残存	25	その他の視覚障害			
		11	第7頸髄まで残存	26	聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害			
		12	第8頸髄まで残存	27	知的障害			
		13	下肢麻痺で座位バランスなし	内部	28	ぼうこう又は直腸機能障害		
		14	下肢麻痺で座位バランスあり	精神	29	精神障害		
		15	その他の車いす					

- 4×100mリレーは男女混合とし、参加申込書にリレーチーム名・代表者名を記入し申し込むこと。また、大会当日の12時までに、大会本部へエントリーシートを提出すること。なお、リレーの参加資格は本大会に出場している者（リレー以外の種目に参加している者）でエントリーシートに記載の4名とする。
- 50mで使用使用する車いすは日常生活用とする。
- 車いすで100m以上の競争種目に出場する選手は、ヘルメット（各自で持参）を着用し競技に出場すること。
- 体幹に機能障害があっても、四肢の機能障害が伴う場合、体幹の区分には該当しない。
- 完全とは、上肢または下肢の3大関節（肩・肘・手関節または、股・膝・足関節）の全てに機能障害のあるものをいう。下肢の場合は長下肢装具なしでは体重を支えきれないものをいう。
- 「座位バランス」の判断については、背もたれの無い座位の状態、両手の支えなく座ることができる場合、「座位バランスあり」とする。
- 障害区分19は軽度（ハンドリムを瞬時に把持したり、ハンドリムのブッシュ時に肘関節を完全に伸展できる）な上肢の麻痺があっても車いす駆動が可能な場合、この区分に該当する。
- 障害区分22は「上肢に不随意運動を伴う走可能」に該当しない走可能な者すべてがこの区分に該当する。
- 障害区分23は四肢体幹機能障害により日常生活で常に電動車いすを使用している者とする。
- 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。
- 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。なお、装着する選手は招集前までにアイマスクおよびアイシェードの検査を受けること。
- 重複障害がある場合は自らが選択した障害区分（1つの障害区分のみ）にて全ての競技・種目に参加すること。
- 車いす使用の選手は招集前までに車いす検査を受けること。
- スターティングブロックを使用する場合は（使用を認めている種目のみ）、招集時に担当係員に申し出ること。
- スパイクシューズを使用し競技を行う場合、スパイクピンの本数は1本以内及びスパイクピンの長さは9mm以内（走高跳は12mm以内）とする。また、スパイクピンの種類は平行ピンとする。（先端が尖っているニードルピン等は使用不可）
- 主たる障害及び重複する障害において聴覚に障害がある者はトラック競技にて光刺激スタート発信装置の使用を申請することができる。申請する場合は参加申込書の障害名欄または重複障害欄に聴覚障害を必ず記入し、光刺激スタート発信装置の使用欄の「あり」に○を付すこと。

ボウリング大会

(ボウリング 障害区分表) ※男女別 ・ 年齢区分別 ※オープン参加は男女別のみ

障害区分	区分番号	
知的	1	
肢体	立位	2-1
	座位	2-2
視覚	3	
聴覚	4	
内部	5	
精神	6	

- 1 年齢区分：知的障害（少年の部＝19歳以下・青年の部＝20歳～35歳・壮年の部＝36歳以上）
- 2 知的障害以外はオープン参加とする。なお、オープン参加の障害区分は男女別のみとする。
- 3 競技方法はシングルレーン（ヨーロピアン）方式の4ゲーム制とする。
- 4 バンパーレーンは使用しない。

ポッチャ大会

(ポッチャ 障害区分表) ※男女混合・年齢区分なし ※○はオープン参加

区分番号	障害区分	立位	座位	
肢体 1	切断・機能障害	◎		
				1
肢体 2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用		◎	
			2	第6頸髄まで残存
			3	第7頸髄まで残存
			4	第8頸髄まで残存
肢体 3	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）		◎	
			5	多肢切断
			6	四肢麻痺で車いす常用または、使用
			7	けて移動
肢体 4	四肢もしくは三肢体幹機能障害	◎		
				8
肢体 5	その他肢体	◎		
視覚		○		
聴覚				
内部				
14	内部障害			

- 1 オープン参加は同一競技区分とし、申込み多数の場合は選考等を行う場合がある。
- 2 座位とは車いすおよび、いすに座って競技を行うことをいう。また、立位とは立って競技を行うことをいう。
- 3 障害区分1の多肢切断とは三肢以上の切断を示す。両下肢完全とは両足の股・膝・足関節のすべてに機能障害があるものを示す。両上肢不完全および両下肢不完全とは両上肢の3大関節（肩・肘・手関節）のうち1または2関節、両下肢の3大関節（股・膝・足関節）のうち1または2関節の両方（両上肢・両下肢）に機能障害があるものを示す。
- 4 脳原性麻痺で、四肢に可動域制限や協調運動がある者で上肢による車いす使用者は障害区分6とする。
- 5 障害区分10は四肢もしくは三肢体幹機能障害により電動車いすを常用している者とする。
- 6 競技中（投球前まで）に移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者は選手1名につき1名のスポーツアシスタントを認める。
また、座位の選手でランプを使用する者は選手1名につき1名のランプオペレーターを認める。
※スポーツアシスタントおよびランプオペレーターは選手のことを離れて競技に介入することはできない。
※座位選手において、スポーツアシスタントとランプオペレーターをそれぞれ1名ずつつける場合、競技エリア内へは、ランプオペレーターのみ入ることができる。
その際、スポーツアシスタントは、競技エリア外（待機エリア）でのサポートのみとする。
- 7 介助が必要な者は選手1名につき1名の介助者を認める。なお、介助者は競技に関わることはできない。
※エンド間のボール回収については選手より申出があった場合のみ、審判等を行う
- 8 立位で競技する選手について、安全上の配慮から、投球時以外はスローイングボックス内にいすを準備し座位にて待機することができる。
- 9 マイボールを使用する選手はボール検査を必ず受けること。なお、ボール検査にて基準をみたせなかった場合は、主催が用意するボールを使用しなければならない。
- 10 ランプを使用する選手は各自で持参し、ランプ検査を必ず受けること。なお、ランプはスローイングボックス（2.5m×1m）内に収まる寸法でなければならない。

第26回川崎市障害者スポーツ大会 参加申込書

記入例

※太枠内は漏れなく記入をお願いいたします

(ふりがな) かわさき たろう		生年月日 昭和・平成 24年 7月 1日	
申込者氏名 川崎 太郎		年齢 13歳 (令和8年4月1日現在)	性別 男・女
申込者住所 〒 210 - 8577 川崎市 川崎 区 宮本町1番地 ○○○○マンション 303号室		TEL 044 - ○△□ - ○△□◇ 緊急連絡先 080 - ○△□ - ○△□◇ FAX 044 - ○△□ - ○△□◇ MAIL 25sports@city.kawasaki.jp	
市内で通っている学校・施設・勤務先等の名称 (川崎市立○△学校)		関係性 母	
障害名及び等級など ※手帳(身体障害の方でカード形式の方は障害証明書)に記載されている障害名と障害等級をご記入ください。			
お持ちの手帳に○をつけてください。 身体障害者手帳 / 療育手帳 / 精神障害者保健福祉手帳			
障害名	脳血管障害による右片麻痺	障害等級	1種1級
原因疾患 身体障害のみ		原因疾患 身体障害のみ	脳出血
重複障害名	聴覚障害、知的障害	障害等級	6級、B2
原因疾患 身体障害のみ		原因疾患 身体障害のみ	両感音性難聴
聴覚障害の方の 情報保障	手話通訳 / 要約筆記 / なし	車いす使用	あり (電動 / 手動)

参加申込		参加を希望する大会、区分番号、種目・確認事項に○をつけてください。(一部記入が必要な項目あり) なお、区分番号は申込まれる大会の障害区分表(本冊子5~8P)にて、ご自身の障害区分を確認し正しくご記入ください。		
大会	区分番号	種目・確認事項		注意事項
アーチェリー ※身体障害のみ	6	10m / 30m	リカーブ / コンパウンド	※10m・30mともに、日ごろから練習をしている方のみ。
水泳	19	25m自由形 / 50m自由形 / 25m背泳ぎ 50m背泳ぎ / 25m平泳ぎ / 50m平泳ぎ 25mバタフライ / 50mバタフライ	入水介助(身体障害) 必要 あり	※2種目まで申込可。 ※入水介助は身体障害のみ。(原則、主催者側で実施) ※知的・精神障害のプールサイドまでの介助は大会当日に受付にて申請すること。 ※聴覚障害の方で光刺激スタート発信装置の使用を希望する方は必ず左記の「あり」に○を付すこと。 (当日の申込は不可)
フライングディスク	1	アキュラシー 5m / 7m	ディスタンス 立位 / 座位 ディスクを投げる手 右 / 左	※アキュラシーは5m、7mのいずれか1種目を選ぶ。 ※ディスタンスは立位、座位のいずれか1種目を選ぶ。 ※アキュラシー・ディスタンスの両方に申込可。
陸上競技	18	トラック 50m / 100m / 200m 400m / 800m / 1500m スラローム / 4×100mリレー	●視覚障害(区分番号24)の方の伴走者(50m走は対象外) あり ●光刺激スタート発信装置の使用(聴覚障害の方のみ) あり ●リレー申込(知的障害の方のみ) あり	※2種目まで申込可。(一部、組合せ不可の競技あり) ※視覚障害の方の伴走者は各自で手配すること。 ※聴覚障害の方で光刺激スタート発信装置の使用を希望する方は必ず左記の「あり」に○を付すこと。 (当日の申込は不可) ※リレーは男女混合の4名(知的障害にてエントリーの選手のみ)にて、自らチームを組む場合のみ申込可。 (リレーを含む場合は3種目まで申込可能) ※リレーのチーム名は6文字以内とすること。 ※走幅跳は踏切線と砂場までの距離を選択すること。
		跳躍・投てき 走高跳 / 立幅跳 / 走幅跳 砲丸投 / ソフトボール投げ ジャベリックスロー / ビーンバック投	(走幅跳の場合) 踏切線と砂場までの距離 1m / 2m	※視覚障害部門は1mのみ
		車いす 補装具等 あり	車いすの種類・補装具名 日常生活用車いす	※車いすの種類・補装具名は、日常生活用車いす、レーサー、義足、下肢装具などを記入すること。
卓球	10	車いす 補装具等 あり	補装具名	※補装具名は義足、下肢装具、杖などを記入すること。 ※競技用のラケットは各自で用意すること。
ボウリング	2-2	※ゲーム代は無料。貸靴代(スローイングゾーン内に入る介助者含む)は自己負担。		
ポッチャ ※身体障害のみ	8	立位 / 座位 (車いす / いす) ランプオベレータースポーツアシスタント あり	ランプ使用 あり マイボール 使用する	※使用するランプは各自で用意すること。 ※ランプオベレーター・スポーツアシスタントは各自で手配すること。

【全国障害者スポーツ大会への参加希望】		希望競技		アーチェリー / 水泳 / フライングディスク 陸上競技 / 卓球 / ボウリング / ポッチャ	※各競技、P3の「4. 参加資格」に記載の障害別参加一覧にて◎の障害の方が対象。
あり	/	なし			

第26回川崎市障害者スポーツ大会 参加申込書

※太枠内は漏れなく記入をお願いいたします

(ふりがな) 申込者氏名	生年月日 昭和・平成 年 月 日 年齢 歳 性別 (令和8年4月1日現在) 男・女		
申込者住所 〒 区	TEL ー ー 緊急連絡先 ー ー (関係性) FAX ー ー MAIL ↳ ※メールでの連絡を希望される方のみ 市内で通っている学校・施設・勤務先等の名称 ()		
障害名及び等級など ※手帳(身体障害の方でカード形式の方は障害証明書)に記載されている障害名と障害等級をご記入ください。			
お持ちの手帳に○をつけてください。 身体障害者手帳 / 療育手帳 / 精神障害者保健福祉手帳			
障害名	障害等級	原因疾患 身体障害のみ	
重複障害名	障害等級	原因疾患 身体障害のみ	
聴覚障害の方の情報保障	手話通訳 / 要約筆記 / なし	車いす使用	あり (電動 / 手動)

参加申込		参加を希望する大会、区分番号、種目・確認事項に○をつけてください。(一部記入が必要な項目あり) なお、区分番号は申込まれる大会の障害区分表(本冊子5~8P)にて、ご自身の障害区分を確認し正しくご記入ください。		
大会	区分番号	種目・確認事項		注意事項
アーチェリー ※身体障害のみ		10m / 30m	リカーブ / コンパウンド	※10m・30mともに、日ごろから練習をしている方のみ。
水泳		25m自由形 / 50m自由形 / 25m背泳ぎ 50m背泳ぎ / 25m平泳ぎ / 50m平泳ぎ 25mバタフライ / 50mバタフライ	入水介助(身体障害) 必要 ●光刺激スタート発信装置の使用(聴覚障害の方のみ)	※2種目まで申込可。 ※入水介助は身体障害のみ。(原則、主催者側で実施) ※知的・精神障害のプールサイドまでの介助は大会当日に受付にて申請すること。 ※聴覚障害の方で光刺激スタート発信装置の使用を希望する方は必ず左記の「あり」に○を付すこと。 (当日の申込は不可)
フライングディスク		アキュラシー 5m / 7m	ディスタンス 立位 / 座位 ディスクを投げる手 右 / 左	※アキュラシーは5m、7mのいずれか1種目を選ぶ。 ※ディスタンスは立位、座位のいずれか1種目を選ぶ。 ※アキュラシー・ディスタンスの両方に申込可。
陸上競技		トラック 50m / 100m / 200m 400m / 800m / 1500m スラローム / 4×100mリレー		※2種目まで申込可。(一部、組合せ不可の競技あり)
		●視覚障害(区分番号24)の方の伴走者(50m走は対象外)	あり	※聴覚障害の方の伴走者は各自で手配すること。
		●光刺激スタート発信装置の使用(聴覚障害の方のみ)	あり	※聴覚障害の方で光刺激スタート発信装置の使用を希望する方は必ず左記の「あり」に○を付すこと。 (当日の申込は不可)
		●リレー申込(知的障害の方のみ)	あり	※リレーは男女混合の4名(知的障害にてエントリーの選手のみ)にて、自らチームを組む場合のみ申込可。 (リレーを含む場合は3種目まで申込可能) ※リレーのチーム名は6文字以内とすること。
		跳躍・投てき 走高跳 / 立幅跳 / 走幅跳 砲丸投 / ソフトボール投げ ジャベリックスロー / ビーンバック投		※走幅跳は踏切線と砂場までの距離を選択すること。
		(走幅跳の場合) 踏切線と砂場までの距離	1m / 2m	※視覚障害部門は1mのみ
卓球		車いす 補装具等 補装具名 あり あり		※車いすの種類・補装具名は、日常生活用車いす、レーサー、義足、下肢装具などを記入すること。 ※競技用のラケットは各自で用意すること。
ボウリング		車いす 補装具等 補装具名 あり あり		※ゲーム代は無料。貸靴代(スローイングゾーン内に入る介助者含む)は自己負担。
ポッチャ ※身体障害のみ		立位 / 座位 (車いす / いす)	ランプ使用 あり	※使用するランプは各自で用意すること。
		ランプオペレーター スポーツアシスタント あり あり	マイボール 使用する	※ランプオペレーター・スポーツアシスタントは各自で手配すること。

【全国障害者スポーツ大会への参加希望】			
あり / なし	希望競技	アーチェリー / 水泳 / フライングディスク 陸上競技 / 卓球 / ボウリング / ポッチャ	※各競技、P3の「4. 参加資格」に記載の障害別参加一覧にて◎の障害の方が対象。

